

# 令和 8 年度

## こども未来塾 開催の手引き

～「こども未来塾プログラム」を利用するには～



令和 8 年 4 月

三田市 こども未来部

こども育成課

◇●◇●◇●◇●◇●◇●◇●◇●◇● 目 次 ◇●◇●◇●◇●◇●◇●◇●◇●◇●

I	こうみん未来塾とは	1
II	プログラムについて	1
III	こうみん未来塾のめざすもの	2
IV	全市版こうみん未来塾〈みんなで体験コース〉	2
V	地域で開催するために	3
VI	出前講座～地域でお試しコース～	4
VII	委託事業～地域が主役コース～	7
	委託事業提出書類記入例	1 1
VIII	こうみん未来塾をとおして	2 1
	こうみん未来塾開催に関する Q&A	2 2

# I こうみん未来塾とは

子ども達が本物に触れる機会を持てる「こうみんプログラム」を通して、科学技術に親しみを感じる子、グローバルに活躍する気概を持つ子、チャレンジ精神旺盛な子の育成をめざす事業です。



こうみんくん

# II プログラムについて

## A. 教育・研究機関プログラム



大学や博物館など、教育・研究機関によるプログラムです。

自分で思考し、工夫を重ねるプロセスや、本格的な機材を使用した実験など、学びに直結した貴重な体験ができます。

## B. 企業プログラム

三田市にゆかりのある企業によるプログラムです。

三田市には、世界レベルで活躍する企業がたくさんあることを知ってもらいたいと思っています。



陶芸家や歴史家、川本幸民ゆかりの寺院やプログラマーなど、多種多様な専門家によるプログラムです。

専門家の技術を目の前で見たり、遊びや制作をとおして本物に触れる体験ができます。

## C. NPO・専門家プログラム



## D. 地域人材プログラム

仕事などで長年培ってきた知識や技術を子ども達に伝えるための、地域の達人によるプログラムです。

令和2年度から大学生によるプログラムも入りました。



### III こうみん未来塾のめざすも

- こうみん未来塾は、**科学技術に親しみを感じる子**の育成をめざしています。



本物に触れる実験や体験の機会をとおして、科学技術は実は身近で、私たちの生活のそのものだということを感じてほしいと思っています。

- こうみん未来塾は、**グローバルに活躍する気概を持つ子**の育成をめざしています。

グローバルに活躍するために、

- 世界のさまざまなことに興味を持ち、未来に夢を描くこと。
- 世界に目を向け、他国の異なる意見や文化、価値観を認めること。
- 積極的に議論に参加し、自分の意見を相手に理論的に説明すること。

こんな力をこども達に備えてほしいと思っています。そのきっかけの1つが、こうみん未来塾でありたいと願います。



- こうみん未来塾は、**チャレンジ精神旺盛な子**の育成をめざしています。



失敗を恐れず、とにかくやってみる。やってみようと思える雰囲気を作っていきたいと考えています。失敗したって、みんなで笑って、またみんなでやってみる。そんな場づくりにご協力ください。

First STEP

### IV 全市版こうみん未来塾 <みんなで体験コース>

こうみん未来塾のプログラムを実際に体験していただくため、市が主体となり、年間30回ほど市内全域の児童・生徒を対象に開催しています。

地域で開催するための参考として地域で活動される皆さんの見学も受け付けます。

## V 地域で開催するために

こうみんプログラムを地域で開催するには、次の2つの方法があります。

STEP 1

STEP 2

	出前講座 (P5からご覧ください) ～地域でお試しコース～	委託事業 (P8からご覧ください) ～地域が主役コース～
概略	団体の自主事業に、こうみんプログラムを取り入れたいという場合	市の委託を受けた団体が、地域の子ども達に広く呼びかけ、こうみん未来塾を実施する場合
団体の要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 三田市内に在住・在勤・在学のグループ</li> <li>② プログラムが対象としている年齢の子どもを10人以上集められること</li> <li>③ <u>宗教活動、政治活動及び選挙活動、また営利を目的としていないこと</u></li> <li>④ 暴力団もしくはその構成員の統制下にある団体でないこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域で子どもに関わる活動をしているグループであること</li> <li>② 組織及び運営に関する事項を定めていること（会則を定めている等）</li> <li>③ （出前講座と同じ）</li> <li>④ （出前講座と同じ）</li> </ul>
実施条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 参加者のとりまとめや会場手配、そして当日の運営まで、円滑にプログラムが実施できること</li> <li>② 年度内の開催回数は3回まで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 三田市が推進する「地域ぐるみで子育てするまち さんだ」に基づき、参加する子どもと地域の大人のつながりの場となるよう努めること</li> <li>② 小学校区、中学校区など、可能な限り広く参加者を募集すること</li> </ul>
経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プログラムに係る経費は市が負担します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プログラムに係る経費は市が負担します</li> <li>■ 1回あたり5,000円を上限として委託料をお支払します</li> <li>■ スタッフのために市でボランティア保険に加入します</li> </ul>
例えば・	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA（家庭教育学級）</li> <li>PTA（学年活動）</li> <li>子ども会・老人クラブ</li> <li>青少年連絡協議会 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こうみん未来塾実施のための実行委員会</li> <li>放課後子ども教室</li> <li>自治会・まちづくり協議会 など</li> </ul>

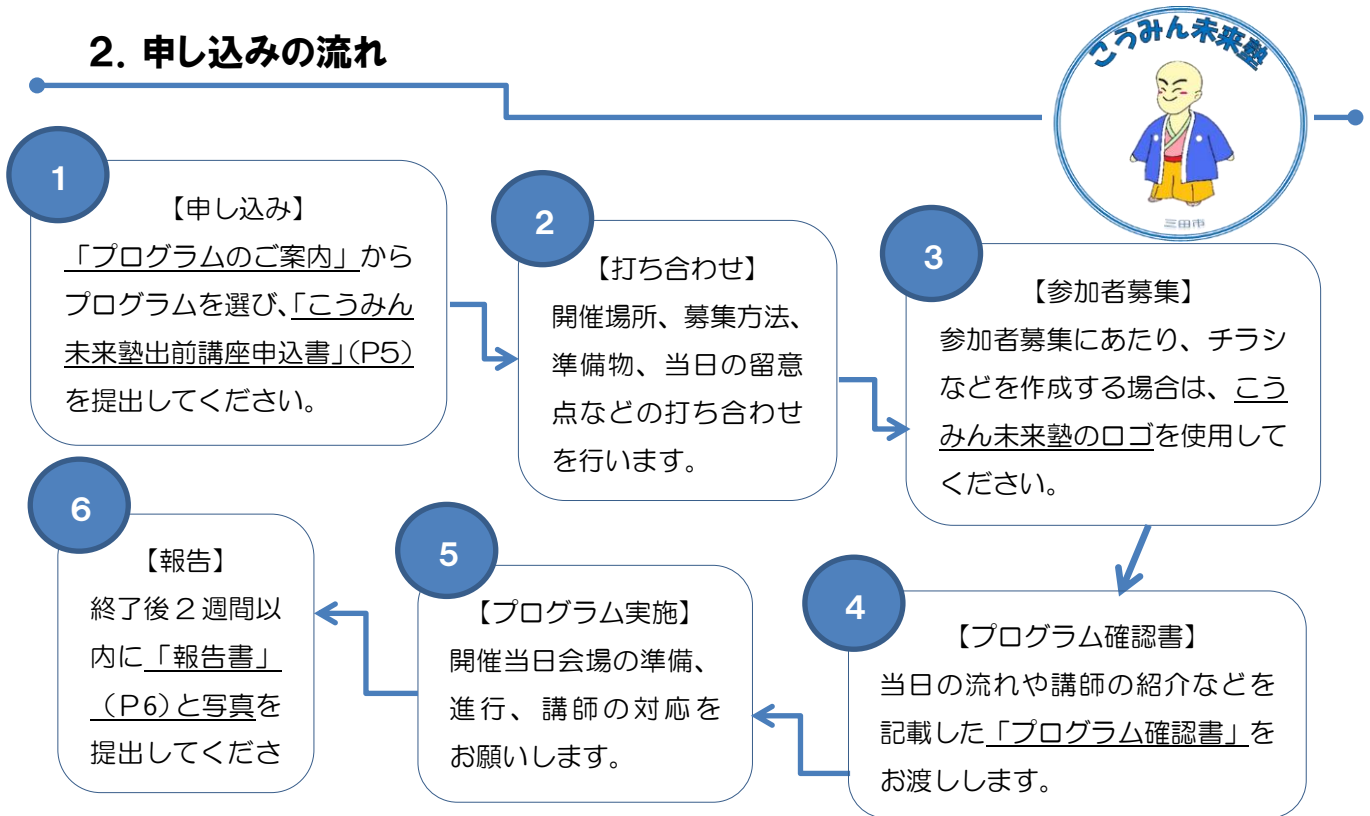
こども会やPTAなど日ごろからこども達と一緒に、またはこども達向けの活動をしているグループが、自分たちの活動に「こうみんプログラム」を取り入れたいという場合には、こうみん未来塾出前講座がご利用いただけます。

### 1. 申し込みができるグループ

- ① 市内に在住・在勤・在学のグループであること
- ② プログラムが対象としている年齢のこどもを10人以上集められること
- ③ 宗教活動、政治活動及び選挙活動、また営利を目的としていないこと
- ④ 暴力団もしくはその構成員の統制下にある団体でないこと



### 2. 申し込みの流れ



### 3. 提出書類

提出書類		提出の時期	留意事項
こうみん未来塾出前講座申込書	P 5	初回実施希望日の1か月前まで	
こうみん未来塾実施報告書	P 6	実施後2週間以内	写真を2～3枚添付

#### 【報告書に添付する写真について】



報告の写真は、市のホームページや市広報紙、チラシなどに掲載することがあります。必ず**参加者に撮影・掲載の許可**を得てください。

実施小・中学校区					
団体名					
代表者	名 前	ふりがな			
団体の主な活動目的					
連絡担当者	住所	〒			
	電話		FAX		
	メール	@			
	担当者名	ふりがな			
	実施希望プログラム	開催日・時間	開催場所	参加予定人数	予定スタッフ数
第1希望		(第1希望)		人 ..... (うち中学生 人)	人
		(第2希望)		(うち小学生 人) ..... (うち幼児 人)	
第2希望		(第1希望)		人 ..... (うち中学生 人)	人
		(第2希望)		(うち小学生 人) ..... (うち幼児 人)	
第3希望		(第1希望)		人 ..... (うち中学生 人)	人
		(第2希望)		(うち小学生 人) ..... (うち幼児 人)	
実施方法		1 出前講座単独で実施      2 他の会合と合わせて実施      (会合名 )			
備考					

# こうみん未来塾実施報告書

報告日 令和 8 年 月 日

団体名								
報告者名								
開催日・時間	開催場所	実施プログラム			申し込み人数			
月 日					<input type="checkbox"/> 抽選の実施			
曜日					人			
時 分					内訳	小学生	人	
~						中学生	人	
時 分		その他	人					
当日参加者集計 【合計 人】								
こども 人		大人 人		児童・生徒の内訳	中学3年生	人	小学2年生	人
					中学2年生	人	小学1年生	人
内訳	小学生	人	内訳		講師等	人	幼児	人
	中学生	人			地域スタッフ	人	その他	人
	参加幼児	人			保護者	人		
	見学幼児	人			見学者	人		
	人		人	小学6年生	人			
				小学5年生	人			
				小学4年生	人			
				小学3年生	人			
参加者（こども）の感想等								
参加者・見学者（大人）の感想等								
関係者の感想等（よかったこと・今後の希望・改善点など）								

【提出期限】 実施後2週間以内

※実施中の様子を撮影した写真データを2~3枚提供してください。  
市ホームページにも掲載しますので、必ず参加者に撮影・掲載の許可を得てください。

## 1. 市が委託する団体の要件

- ① 地域でこどもに関わる活動をしているグループであること
- ② 組織及び運営に関する事項を定めていること（会則を定めているなど）
- ③ 宗教活動、政治活動及び選挙活動、また営利を目的としていないこと
- ④ 暴力団もしくはその構成員の統制下にある団体でないこと



## 2. 委託料について

## 委託料

- ◆ 委託料は 1回あたり5,000円 を上限として、  
実施予定回数 を乗じた金額が上限となります。

## 委託料で支出できる経費

	項目	内容
参加者の募集にかかる経費	印刷代・用紙代・消耗品代等	チラシ作成等
地域スタッフの謝礼	報償費	上限は1時間あたり <b>1,000円</b>
会場使用料	使用料	当日や打ち合わせ時等
その他必要な経費	市の設定以上の 地域スタッフの保険料	※参加者の保険は対象外

## 申請

- ◆ 実施計画書兼見積書 P11 にて、必要な経費を見積もり、契約します。
- ◆ 契約締結後、委託料請求書 P14 を提出してください。  
委託料総額を前払金として支払います。

## 報告

- ◆ 予定回数終了後、業務完了届兼経費執行報告書 P18 を提出していただきます。  
経費執行報告書には 領収書の添付 が必要です。



## 3. 実施方法

計画に  
あたって

【対象者】 こうみん未来塾の対象は、三田市内に在住するこどもです。

【理 念】 「地域ぐるみで子育てするまち さんだ」に基づき、  
地域のこどもと大人が交流できる機会として、地域住民からボランティア  
を募るなど、地域の皆さんの参画が得られるように運営してください。



- チラシの作成など参加者募集の際には、**こうみん未来塾のロゴ**を使用してください。
- こうみん未来塾への参加は、学校の活動ではありません。参加にあたっては保護者の判断のもと、**自己責任になる**ことを募集の際にあらかじめ明記してください。



※ボランティア保険対象人数の上限

年間実施回数	加入人数
1回	5 人まで
2回	7 人まで
3回	9 人まで
4回	10 人まで
5回	

【ボランティア保険】

当日参加するスタッフの名簿を指定日までに提出してください。

市でボランティア保険に加入します。

【参加者の募集】

参加申込者を集約し、受付名簿等で出欠を確認できるよう準備してください。

【参加者の報告】指定の期日までに、**参加者の学年別人数を報告**してください。

【参加者の受付】受付名簿により参加者の出欠を確認してください。

【プログラム確認書にて当日の流れを確認！】

「確認書」のとおり、プログラムがスムーズに進行するよう運営してください。



報告の写真は、市のホームページや市広報紙、チラシなどに掲載することがあります。必ず**参加者に撮影・掲載の許可**を得てください。

【報告】指定の期日までに、報告書類を提出してください。

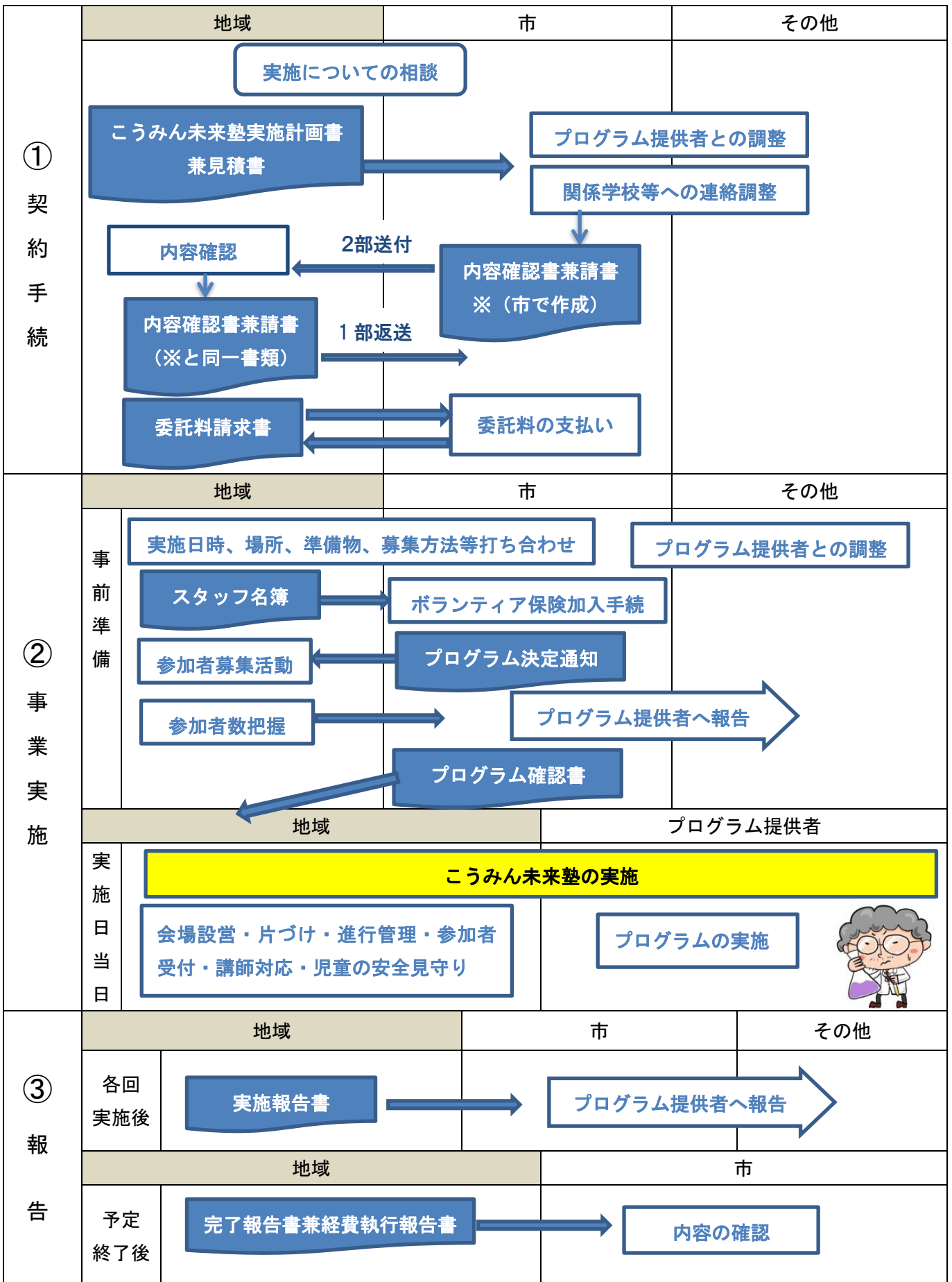
## 4. 安全の確保

- 緊急時の連絡マニュアルや緊急時の役割分担の確認など、緊急時に備えた準備を行いましょう。
- 情報収集に努めましょう。
  - さんだ防災・防犯メール [sanda@bosai.net](mailto:sanda@bosai.net)
  - 気象情報 [気象庁 HP] [www.jma.go.jp/jp/kishojoho](http://www.jma.go.jp/jp/kishojoho)
  - 熱中症予防サイト [環境省 HP] [www.wbgt.env.go.jp/](http://www.wbgt.env.go.jp/)
  - 無料アプリ 「YAHOO!防災速報」など  
(地震情報・豪雨予報・熱中症情報などに対応)
- ◆ 参加するこどもの緊急連絡先の情報を収集しておくことも必要です。
- 万一事故が発生した場合には、適切な措置を講じたうえで、担当課へ速やかに報告してください。



- 👉 いつ・どこで・何が起きたか
- 👉 誰が関係しているか
- 👉 けが人はいるか、物が壊れたりしたか
- 👉 どのように対応したか

## 5. 実施の流れ



## 6. 提出書類と提出の時期

提出書類		提出の時期	留意事項
こうみん未来塾実施計画書 兼見積書	P11	初回実施希望日の1か月前	
内容確認書兼請書 誓約書	P13	初回参加者募集までに	押印のうえ1枚提出
委託料請求書	P14	内容確認書兼請書提出以降	
地域スタッフ名簿	P15	市が指定する日までに	ボランティア保険の加入手続きを行います
参加予定者数報告書	P16	市が指定する日までに	講師へ事前に報告します
こうみん未来塾委託事業 実施報告書	P17	実施後、14日以内	写真を添付
業務完了届兼経費執行報告書	P18 ～ P20	年間予定事業終了後2週間 以内	スタッフ謝礼領収書・領収書添付 台帳（領収書原本を貼付）を添付

## 7. 提出書類の記入例

### 契約にあたって

- ① こうみん未来塾実施計画書兼見積書 P11～12
- ② こうみん未来塾内容確認書兼請書、誓約書 P13
- ③ 委託料請求書 P14

### 実施にあたって

- ④ 地域スタッフ名簿 P15
- ⑤ 参加予定者数報告書 P16
- ⑥ こうみん未来塾委託事業実施報告書 P17

### 全事業終了後

- ⑦ 業務完了届兼経費執行報告書 P18
- ⑧ 領収書添付台帳 P19
- ⑨ スタッフ謝礼領収書 P20

令和 8 年度

こうみん未来塾実施計画書兼見積書

団体名		△△△実行委員会			
団体の所在地		三田市〇〇■-■-■			
代表者	名 前	ふりがな 〇〇 〇〇〇			
	団体の役職名	代表			
団体の概要	発行責任者	氏名	〇〇 〇〇〇	電話番号	090-0000-0000
		住所	〒 669-0000 三田市〇〇■-■-■	E-mail	〇〇〇@〇〇.〇〇
	発行担当者	氏名	〇〇 〇〇〇	電話番号	079-000-0000
		住所	〒 669-0000 三田市〇〇■-■-■	E-mail	〇〇〇@〇〇.〇〇
主な活動目的	■■地域でのこうみん未来塾の実施				
団体の構成員	合計	名 ※ 下記の団体名簿に構成員を記入してください。			

【団体名簿】

	名 前	役職	住 所	電話番号
1	〇〇 〇〇〇	代表	〒 669-■■■■ 三田市〇〇■-■-■	080-0000-0000
2	〇〇 〇〇〇	副代表	〒 669-■■■■ 三田市〇〇■-△-■	090-0000-0000
3	〇〇 〇〇〇	会計	〒 669-■■■■ 三田市〇〇■-■-▲	090-0000-0000
4				
5				

※ 行数が足りない場合は行を追加するか、別紙にてご提出ください。

【実施計画書】

実施小・中学校区				
契約期間	令和 年 月 日	～ 令和 年 月 日	年間	回予定

※ プログラム提供者との調整により、ご希望の日程、プログラムが実施できない場合もあります。

開催日の変更が難しい場合には、プログラム候補を複数記入していただくと調整が可能です。

必ず実施したいプログラムがある場合には、開催日の候補を複数記入しておくことをおすすめします。

	開催日・時間	開催場所	実施希望プログラム (タイトルが長いものは、下線部のみ記入可)		参加予定人数	予定スタッフ数
			NO	タイトル		
1	7月28日 9時30分 ～ 11時30分	■■小学校理科室	NO	A-13 アンモナイトの レプリカ標本作り	15 人 (うち中学生 15人)	3 人
2	8月6日 14時～16時 または 8月27日 10時～12時	三田工場 または コミュニティセンター	NO	B-15 段ボールおもしろ教室	(うち幼児 15人)	
3	9月下旬	〇〇公園 または コミュニティセンター	NO	C-32またはA-1 こうみん星空観察会 または 3D映像で宇宙の旅へ	40 人 (うち中学生 20人) (うち小学生 20人) (うち保護者 20人)	3 人
4	11月音楽会の 代休日	〇〇市民センター またはコミュニティセ ンター	NO	D-10 暗号を解読せよ	15 人 (うち中学生 15人) (うち小学生 15人) (うち幼児 15人)	3 人
5	1月14日	■■小学校	NO	C-34 ドローンで風船を割れ!	25 人 (うち中学生 25人) (うち小学生 25人) (うち幼児 25人)	3 人

「こうみんプログラムのご案内」から  
 プログラムを選んでください。  
 タイトルが長いプログラムは、下線  
 部分のみ記入してください。

【委託料見積書】

1回あたり5000円とし、5000円に実施予定回数を乗じた額が委託料総額の上限です。

委託料総額		25,000	円
内 訳			
費目	金額	明細	
スタッフ謝金	15,000 円	500円×2時間×3人×5回=15,000	
消耗品	1,500 円	募集チラシ用紙代、インクカートリッジ代	
会場使用料	7,500 円	市民センターまたはコミセン使用料 3回分	
その他	1,000 円	印刷代、郵送代その他	

●プログラムの選択や実施時期の決定に際し重視されている・こだわっていることや、開催日に考えている工夫などがあればぜひご記入ください。

例) スタッフは3名だが、開催日には地域の大人にも参加してもらい一緒に楽しみたいと考えている。そのため、大人募集のチラシやポスターを作成し、回覧することを計画している。

例) 夏休み前に昆虫の講座など、夏休みの自由研究のきっかけになる講座を実施したい。夏休みに多くの虫を集める子、気に入った虫を詳しく調べる子いろんな方向に広がってほしい。日程が合わなければ、虫にこだわらず同様に夏休みに興味を広げたり深めたりできる講座を紹介してほしい。

例) 中高生にスタッフとして参加しながら、科学技術への関心・地域住民や子ども達とのつながりを持ってもらいたいと思い、◎◎中学校と■■高等学校へ生徒の参加協力の依頼に学校との調整を予定している。

例) 9月下旬の宇宙体験は、敬老の日になんで祖父母同伴での参加や老人クラブへ呼びかけ、子どもと同人数程度の高齢者の参加を募りたい。



# 委託料請求書

請求日 8年 5月 15日

三田市長あて

下記金額を請求します。

住所	三田市〇〇■-■-■
実施団体名	△△△実行委員会
代表者名	〇〇 〇〇〇

発行責任者	〇〇 〇〇〇	連絡先	090-0000-0000	E-mail	000@00.00
発行担当者	〇〇 〇〇〇	連絡先	079-000-0000	E-mail	000@00.00

金 25,000 円

ただし、■■小 学校区こうみん未来塾委託料として

こうみん未来塾地域スタッフ名簿

団体名			△△△実行委員会		
小・中学校区名			■■■小学校区		
8 月	4 日	実施予定 実施	プログラム名	ドローンで風船を割れ	
	ふりがな 氏名	電話番号 住所	スタッフ 参加回数	ボランティ ア保険加 入状況	備考
1	〇〇 〇〇〇	TEL 080-0000-0000 三田市〇〇■-■-■	2	<input type="checkbox"/> 済 <input checked="" type="checkbox"/> 未	
2	△△ △△	TEL 090-0000-0000 三田市〇〇■-△-■	2	<input type="checkbox"/> 済 <input checked="" type="checkbox"/> 未	
3	◎◎◎ ◎◎◎	TEL 090-0000-0000 三田市〇〇■-■-▲	1	<input checked="" type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未	個人でボランティ ア保険に加入し ています。
4		TEL		<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未	
5		TEL		<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未	
6		TEL		<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未	
7		TEL		<input type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未	

- ◎ スタッフとしてこうみん未来塾に参加される方は、基本的に市でボランティア保険に加入します。  
ただし、こうみん未来塾の年間実施回数によって、年間を通じて加入できる人数に制限を設けています。  
設定人数を超える方がスタッフとして参加される場合には、必要に応じて委託料の中から保険料を支出していただくことができます。
- ◎ 加入する保険は、「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済」で、保険期間の末日は令和9年3月31日です。
- ◎ 令和8年度学校支援ボランティアにご登録いただいている方は、令和9年3月31日まで同じ保険に加入済みです。
- ◎ 令和8年度学校支援ボランティアに登録されている方や、個人でボランティア保険に加入されていて市で別途加入する必要のない方は、加入状況覧の「済」にチェックをつけてください。

※ボランティア保険対象人数の上限

年間実施回数	加入人数
1回	5 人まで
2回	7 人まで
3回	9 人まで
4回	10 人まで
5回	

参加予定者数報告書

報告日 令和 8 年 6 月 27 日

団体名		△△△実行委員会				
小・中学校区		■■■小学校				
報告者名		□□□ □□		TEL 079-5■■■-■■■■		
開催日・時間		開催場所	実施プログラム	応募人数		
7 月 28 日 ( 火 )		■■■小学校	NO A-13	15 人		
9 時 30 分から			タイトル アンモナイトの レプリカ標本作り	内訳	小学生	15 人
11 時 30 分まで					中学生	人
					保護者	6 人
					その他	人
参加者集計 【合計 25 人】						
参加者 21 人		関係者 4 人		児童・生徒の内訳	児童・生徒の内訳	
内訳	小学生 15 人	内訳	講師等 1 人	小学2年生 4 人	小学2年生 4 人	
	中学生 人		スタッフ 3 人	小学1年生 2 人	小学1年生 2 人	
	保護者 6 人		関係者 人	小学6年生 人	幼児 人	
	見学者 人		その他 人	小学5年生 4 人	その他 人	
	幼児 人			小学4年生 5 人		
			小学3年生 人			

こうみん未来塾委託事業実施報告書

報告日 令和 8 年 8 月 7 日

団体名	△△△実行委員会						
小・中学校区	■■■小学校						
報告者名	□□□ □□		TEL	079-5■■■-■■■■■			
開催日・時間	開催場所	実施プログラム		応募人数			
7 月 28 日 (火)  9 時 30 分から 11 時 30 分まで	■■■小学校	NO	A-13		19 人		
		タイトル アンモナイトの レプリカ標本作り	内訳	小学生	13 人		
				中学生	人		
				その他	人		
保護者	6 人						
当日参加者集計 【合計 24 人】							
参加者 20 人		関係者 4 人		児童・生徒の内訳	児童・生徒の内訳		
内訳	小学生	13 人		児童・生徒の内訳	小学2年生	4 人	
	中学生	人			小学1年生	2 人	
	保護者	5 人			幼児	2 人	
	見学者	人			その他	人	
	幼児	2 人					
関係者							
		講師等		1 人			
		スタッフ		3 人			
		関係者		人			
		その他		人			
参加者（子ども）の感想等							
参加者・見学者（大人）の感想等							
関係者の感想等（よかったこと・今後の希望・改善点など）							
例) 大人の参加者を地域内の回覧で募集したところ、5名の参加があり子ども達と共に真剣に参加してくれた。							
例) 早朝から実施できると熱中症の心配も減るが、早朝実施は難しいか検討してほしい。							

※実施中の様子を撮影した写真を2～3枚提供してください。  
市ホームページにも掲載しますので、必ず参加者に撮影・掲載についての許可を得てください。

業務完了届兼経費執行報告書

1 履行場所 三田市 ■■小学校区 地内

2 業務名 こうみん未来塾実施事業

3 業務委託料 25,000 円

上記の業務は、令和 9 年 2 月 20 日に完了しましたので届け出るとともに、経費の執行について報告します。また、本事業開始時の誓約書に基づき、適切な個人情報取り扱いを行うとともに、本事業で知りえた個人情報(参加者名簿等)については適切に廃棄いたしました。

令和 9 年 2 月 26 日

受注者 住所 三田市〇〇■■-■■-■■  
 団体名 △△△実行委員会  
 代表者名 〇〇 〇〇〇

発行責任者	〇〇 〇〇〇	連絡先	090-0000-0000	E-mail	〇〇〇@〇〇.〇〇
発行担当者	〇〇 〇〇〇	連絡先	079-000-0000	E-mail	〇〇〇@〇〇.〇〇

小・中学校区		■■小学校区		
1	開催日時	開催場所	実施プログラム	
	8 年 7 月 28 日 9:30 ~ 11:30	■■小学校	NO A-13	タイトル アンモナイトのレプリカ標本作り
費目	内容	内訳	金額	領収書添付台帳番号
スタッフ謝金	スタッフ謝礼	500円×2時間×2人	2,000	①
	スタッフ謝礼	500円×1.5時間×1人	750	①
消耗品	チラシ用紙代	1620円×2冊	3,240	②
	受付用ファイル	ファイル108円×3	324	③
会場使用料				
その他	印刷代	市民センター印刷代	100	④
合計			6,414	円

5	開催日時	開催場所	実施プログラム	
	8 年 11 月 15 日 9:30 ~ 11:30	コミュニティセンター	NO D-10	タイトル 暗号を解読せよ
費目	内容	内訳	金額	領収書添付台帳番号
スタッフ謝金	スタッフ謝礼	500円×2時間×3人	3,000	⑭
消耗品	チラシ用紙代	860円×1冊	860	⑮
	ボールペン	108円×2パック(赤・黒)	216	⑮
会場使用料				
その他	印刷代	市民センター印刷代	100	⑯
合計			4,176	円
支払い済み委託料		25,000 円	経費総額	25,220 円
不足金額	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	220 円	補てん方法	寄付
余剰金額	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	円	返金手続きを行います。 お渡しする納付書で支払をお願いします。	

## 領収書添付台帳

領収書添付台帳番号	②
-----------	---

費目	消耗品	支出金額	3,240円
----	-----	------	--------

(領収書添付欄)

# 領収書

△△△商店  
〇〇〇-〇〇〇〇

毎度ありがとうございます。

A4色上質紙  
1620×2 3240円

計	¥3240円
預かり	¥4000円
お釣り	¥760円

購入したものと金額が明記されてい  
れば、レシートでも構いません。

### 【お願い】

- ① 領収書の原本を貼付してください。
- ② 貼付する時は、領収書同士を重ね  
ないでください。

令和 8 年度

スタッフ謝礼領収書

団体名			△△△実行委員会	
小・中学校区名			■■■小学校区	
7 月	28 日	実施	プログラム名	アンモナイトのレプリカ標本 作り

金額			氏 名	
¥	1,000		▲▲ ▲▲	※
	単価	× 活動時間		
¥500	×	2.0		
¥	1,000		○○ ○○	※
	単価	× 活動時間		
¥500	×	2.0		
¥	1,000		■■ ■■	※
	単価	× 活動時間		
¥500	×	2.0		
¥	0			※
	単価	× 活動時間		
	×			
¥	0			※
	単価	× 活動時間		
	×			
¥	0			※
	単価	× 活動時間		
	×			

※本人が手書きしない場合は、記名押印してください。

## VIII こうみん未来塾をとあして

### こども達は

- 地域の大人とのつながりが生まれます。親や先生のような縦の関係でもなく、友だちのような横の関係でもない、「ななめ」の大人との関係が、今注目されています。
- 自分たちのために頑張ってくれる大人の存在に気づくことで、地域への愛着が生まれます。
- 学校では経験できない、本物に触れる実験や体験をする機会が生まれます。
- 中学校区単位で参加者を募集するため、こども達の輪が広がります。

### 地域では

- こども達を地域で育てる活動に関わることで、大人が地域を見る目、こども達を見る目が変わり、地域の教育力の向上が期待できます。
- 地域の大人も、プログラムに参加することで、三田の魅力・三田で活躍する人々・科学技術の魅力を再発見できます。
- こども達の参加を通じて、保護者とつながるためのきっかけになります。
- サポートだけでなく、こども達に「教えられるよ」「伝えたい」という方には、講師として活躍していただくことも可能です。
- こども達を通じて、地域の大人の活躍の場が広がります。
- 中学校区単位で児童・生徒を募集するため、こども達を通じて隣接地域との交流が深まります。



ぜひ、地域でこうみん未来塾を開催し、地域のつながりづくりや生涯学習の場に活用してください。

## こうみん未来塾開催に関するQ&A

Q1. こうみん未来塾とはどのような事業ですか？

A1. 科学技術に親しみを感じる子、グローバルに活躍する気概を持つ子、チャレンジ精神旺盛な子の育成のため、教育・研究機関や企業・NPO・地域の達人などとの協働による「こうみんプログラム」を、地域の活動団体との協働で、地域のこども達のために実施する事業です。

Q2. こうみん未来塾という名前には、どのような由来があるのですか？

A2. 三田市が生んだ偉大な科学者「川本幸民」を目標とした人材育成と、三田市が推進している「公民」協働のまちづくりにちなんで名づけました。

Q3. こうみんプログラムとは、どのようなものですか？

A3. 「こうみんプログラム」は、教育・研究機関や企業、三田市にゆかりのあるNPOや専門家・地域の達人たちとの協働で、こども達が本物に触れる機会を持てるプログラムを設定しています。私たちの生活を豊かにしてくれる様々な道具たち。その中には、考え抜かれた科学技術が組み込まれています。こうみん未来塾に参加することで、表には見えない科学技術や科学者たちのチャレンジ精神などを感じてもらいたいと考えています。

Q4. プログラムの日程調整はどのようにしますか？

A4. まずは、①希望するプログラムを優先するか、②日程を優先するかを決めてください。

①実施したいプログラムが決まっている場合は、実施希望日を何日か設定していただき、講師と調整します。

②実施したい日が決まっている場合は、希望するプログラムをいくつか選んでいただき、その日に実施可能なプログラムを調整します。

Q5. 出前講座と委託事業は何が違うのですか？

A5. 例えば、こども会で実施したい場合、こども会の会員だけに呼びかけて、自主事業の一環として開催するのが「出前講座」です。

同じくこども会が実施する場合でも、中学校区や小学校区の会員以外のこども達に広く呼びかけて、多くのこども達に「こうみんプログラム」を体験する機会を提供するのが「委託事業」です。まずは、出前講座で「こうみんプログラム」をお試しいただき、次年度には委託化を検討していただきたいと考えています。

Q6. どのように実施しているのか、他の地域の様子を見学できますか？

A6. 見学は大歓迎です。事務局にて開催地域と調整し、実際にプログラム実施状況を見学していただきながら、詳しくご説明したり、疑問点などにお答えしたいと考えています。

また、全市版こうみん未来塾の開催を見学していただくことも可能です。

Q7. 委託事業は計画的に開催することとなっていますが、何回以上実施しなければいけませんか？

A7. 年間1回でも開催できます。

計画的に開催するために、「プログラムのシリーズ化」をご提案しています。

Q8. 委託料について、年間3回計画し合計 15,000 円の見積もりをしましたが、各回 5,000 円以内で運営しないといけませんか？

A8. 複数回計画した場合、1回の実施に 5,000 円以上支出することもできますが、合計金額が委託料総額を超えないように、計画的に使用してください。

Q9. 参加者の受付について、定員に満たなければ、当日まで募集し続けてもよいですか？

A9. できるだけ、指定の期日で締め切り、参加者の学年別人数を報告してください。

それぞれのプログラムには、学びのねらいがあります。参加者の人数や学年の構成によって、いかに効果的な学びにつながるか、講師と相談し、説明や解説、工作や実験など、参加者の状況に応じた難易度を検討したり、必要な材料を準備したりします。  
人数報告後に多少増減することは想定して準備しています。

Q10. 個人情報の取り扱いについて、注意することはありますか？

A10. **個人情報の保護に関する法律、三田市「情報セキュリティ規定」及び「個人情報保護規定」を遵守し、安全対策、情報資産・個人情報保護を実施してください。**

例えば、

- ① 申込書などの事務作業で知り得た情報のほか、子ども達が話してくれた個人的な情報についても取り扱いに注意が必要です。
- ② やむを得ず個人情報を記録として残すときは外部に流出しない対策(PC ならウイルス対策、鍵のかかるロッカー等に書類を保管等)を行います。
- ③ サポーターやボランティアの方々を含めて、個人情報の取り扱いについてご確認いただくために事前に打ち合わせをしてください。

適切な支援が必要で関係機関につなぐべき話ではないかと思われる事案については、担当課にご相談ください。

Q11. 申し込んでいるのに来ない子がいたら、どうしたらいいですか？

A11. こどもの安否を明らかにしましょう。欠席の連絡がないのに来ていない子がいれば、あらかじめ聞いておいた緊急連絡先に連絡し、保護者に参加していないことを伝え、参加の有無を確認してください。

Q12. 報告や記録用に写真を撮りますが、気を付けることはありますか？

A12. 市に報告していただく際、2～3枚の記録写真を添付していただきます。この写真は、市ホームページでの開催報告や、市広報・各チラシ、その他こうみん未来塾事業の説明など、いろいろな場面で活用します。  
必ず参加者に、撮影・掲載の許可を得てください。

Q13. プログラム実施中は、スタッフは何に気をつければいいですか？

- A13. ① 特に年齢の低い子どもには、実施中に危険を伴う作業もあるかもしれません。講師から安全に関する説明がある場合には、サポートいただくみなさんにもご理解いただき、安全な実施にご協力ください。
- ② こうみん未来塾では、地域の大人と一緒に本物に触れる機会を提供したいと考えています。大人の皆さんも、「こうみんプログラム」に興味を持って参加してください。
- ③ その他、各プログラムごとの注意点や運営方法・役割分担などは、事前に「プログラム確認書」にて、打ち合わせなどを行い、確認していただきます。

Q14. 台風やインフルエンザなど、不測の事態にはどのように対処すればいいですか？

A14. まずは、参加する子ども達の緊急連絡先等の情報を収集し、適切に管理しておくことが必要です。

その上で、警報発令時やインフルエンザ、**熱中症警戒アラート**などで学校が休校になるという事態もあり得ます。台風の接近等の情報や警報、不審者情報、熱中症情報などに留意し、状況に応じて適切に対応できる体制を整えておくことが必要です。

\*さんだ防災・防犯メール [sanda@bosai.net](mailto:sanda@bosai.net)

\*気象情報(気象庁ホームページ) [www.jma.go.jp/jp/kishojoho](http://www.jma.go.jp/jp/kishojoho)

\*熱中症予防情報サイト(環境省ホームページ) [www.wbgt.env.go.jp/](http://www.wbgt.env.go.jp/)

\*無料アプリ 「YAHOO!防災速報」(地震情報・豪雨予報・熱中症情報などに対応)

Q15. (委託事業)ボランティア保険に加入してもらえるとのことですが、どのような保険ですか？

A15. 市で加入する保険は、「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済」です。

保険期間の末日は、令和9年3月31日です。

令和8年度学校支援ボランティアに登録されている方は同じ保険に加入しています。

また、放課後子ども教室事業として同保険に加入していたり、個人で加入している方もあるかもしれません。

ボランティア保険の加入状況を確認していただき、「スタッフ名簿」にて保険加入の手続きを行います。市で設定している人数を超える方がスタッフとして参加される場合には、必要に応じて委託料の中から保険料を支出することができます。





お問い合わせ

三田市役所 こども未来部 こども育成課

〒669-1595 三田市三輪2丁目1番1号

TEL 079-559-5046 FAX 079-563-3611

メール [kodomoikusei@city.sanda.lg.jp](mailto:kodomoikusei@city.sanda.lg.jp)

